

2015年 S-PLUS & Visual R Platform 学生研究奨励賞

訪日外国人の特徴分析

東海大学 情報通信学部

経営システム工学科

吉田 和矢

目次

- 研究背景
- 研究目的
- 研究内容
- データの概要
- 研究結果
- まとめ
- 考察
- 今後の課題
- 参考文献

研究背景1

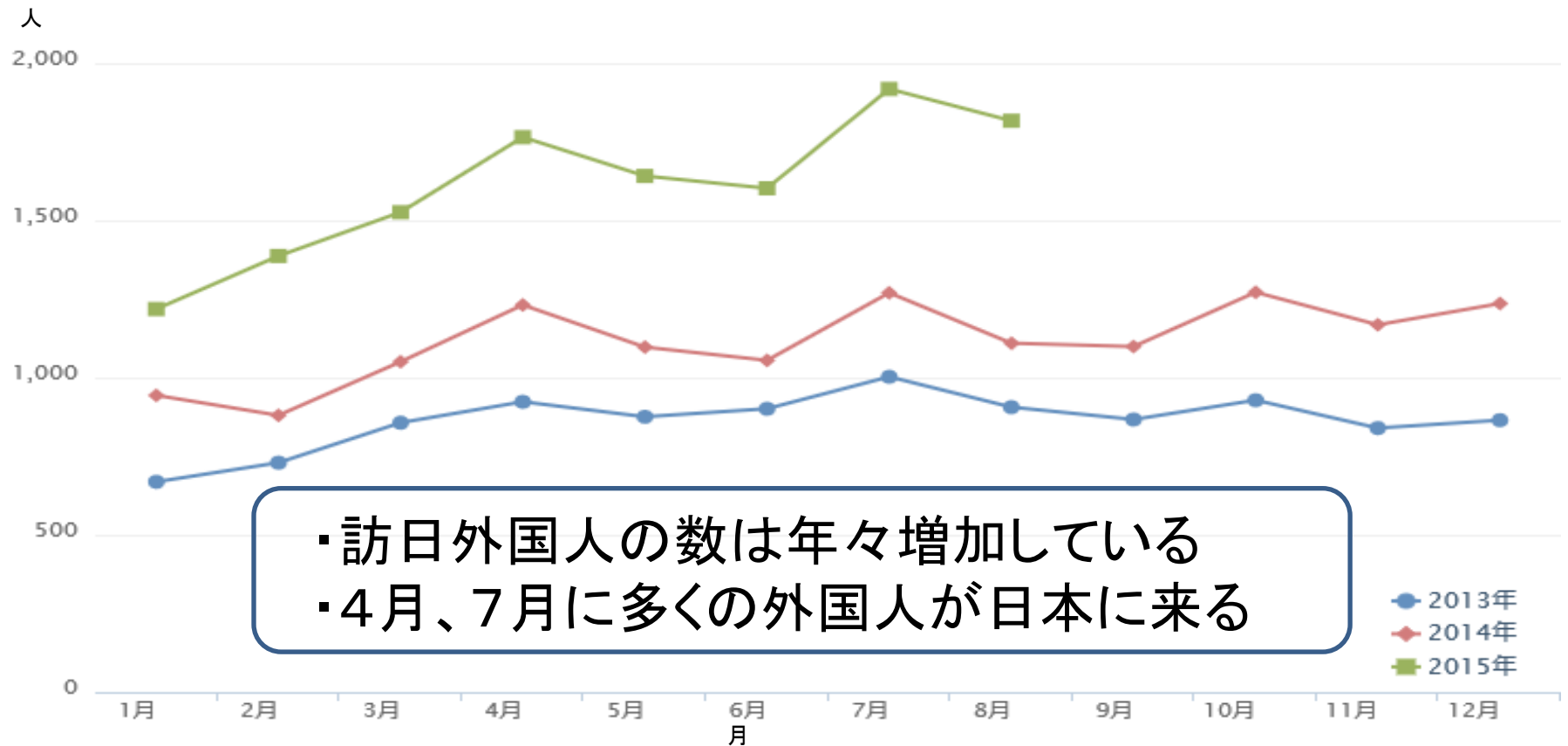


図1 過去3年の月別訪日外国人数の推移^[1]

研究背景2

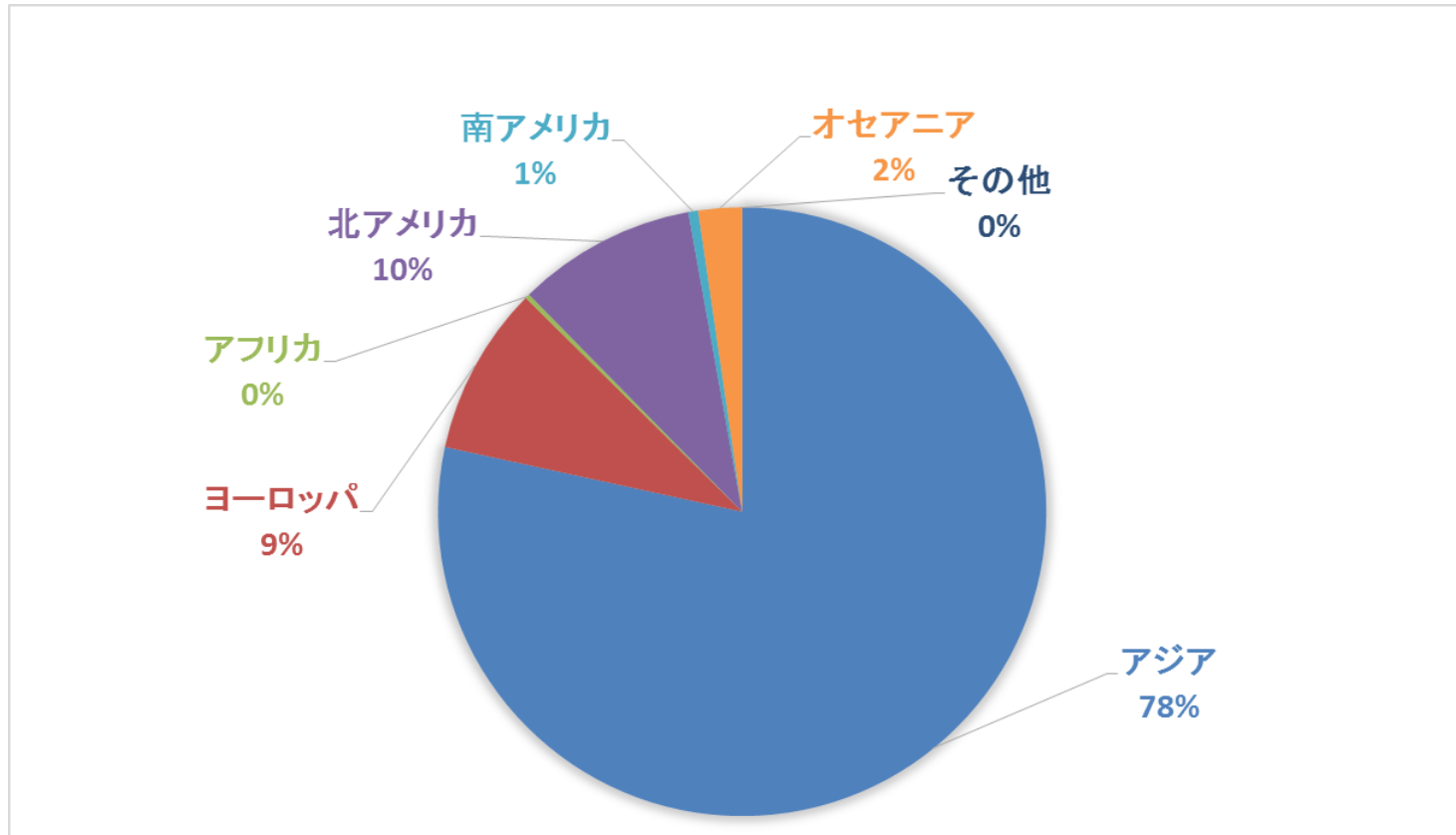


図2 2014年訪日外国人 内訳

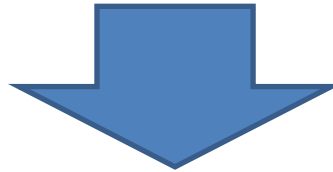
訪日外国人の内78%がアジアの地域が占めている

- 要因
- ・航空便が多いこと
 - ・距離が近いこと

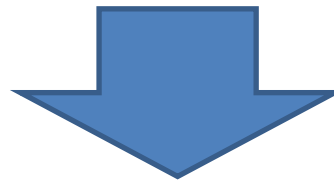
研究背景3

今後1年以内に訪れる可能性がある渡航先(2013年)でアメリカに次ぐ2位が日本である^[2]

しかし



2014年世界各国・地域への外国人訪問者数ランキング22位。アジアの中では7位が日本^[3]



日本を訪問したいと感じている外国人は多いが日本の魅力を十分に伝えきれていない

研究目的

- 2020年には東京オリンピックが控えている
- 日本が環境立国になるチャンス^[4]
- 環境業で日本経済を安定させる為に訪日外国人を増加へ

研究目的

訪日外国人の増加要因について分析し今後の戦略を提示することを目的とする

研究内容

1.重回帰分析 (TIBCO Spotfire S+® 8.2J Linear Regresstion)

-従属変数⇒訪日外国人数

-独立変数⇒留学生数・飛行時間

2.重回帰分析 (TIBCO Spotfire S+® 8.2J Linear Regresstion)

-従属変数⇒訪日外国人数

-独立変数⇒女性の40代・7～13日間

データの概要

<使用データ>

[訪日外国人消費動向調査データ]^[5]

- ・提供：国土交通省 観光庁
- ・期間：2014年

[訪日外客数の動向データ]^[6]

- ・提供：日本政府環境局 (JNTO)
- ・期間：2014年

研究結果(1.重回帰分析)

- 調整済み $R^2 = 0.614$
- 分散分析 有意確率 = 0.001

表1 留学生・飛行時間の重回帰分析結果

係数		
モデル	B	有意確率
定数	1834200.891	0.004
留学生	6306.219	0.088
飛行時間(分)	-2519.311	0.013

回帰式
$$y = 6306.219x_1 - 2519.311x_2 + 1834200.891$$

研究結果(2.重回帰分析)

- 調整済み $R^2 = 0.956$
- 分散分析 有意確率 = 0.000

表2 女性40代・7~13日間の重回帰分析結果

係数		
モデル	B	有意確率
定数	278051.809	0.006
女性40代	7077.754	0.000
7~13日間	-1058.110	0.003

回帰式 $y = 7077.754x_1 - 1058.110x_2 + 278051.809$

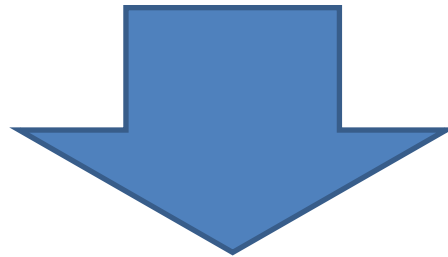
まとめ

- 重回帰分析により訪日外国人の増加に必要なカテゴリー(留学生・飛行時間・女性40代・7～13日間)を把握できた
- 留学生の増加・飛行時間の削減が訪日外国人を増加させる
- 40代女性の増加・7～13日間の滞在日数を減らすことが訪日外国人を増加させる

考察(1.重回帰分析)

分析結果から得られたこと

- 留学生の増加
 - 飛行時間の削減
- } 訪日外国人の増加

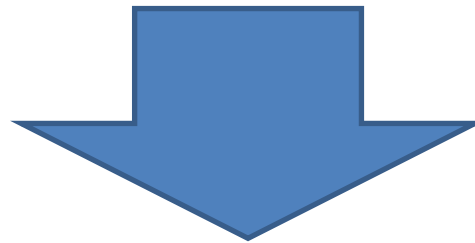


留学生が日本で学んだことや経験したことを家族・友人に伝え多くの人に日本への興味を持ってもらう

考察(2.重回帰分析)

分析結果から得られたこと

- ・女性40代の増加
 - ・7～13日間の滞在日数の減らす
- } 訪日外国人の増加



- 近所の友人や趣味を通じた友人などと四季を活かした「その時期ならではの観光ツアー」を企画する
- アジア圏の中高年女性に食事・ショッピングを目的とした短期滞在者を増やす

今後の課題

- 観光目的や世界遺産数のデータも含め分析を行い、訪日外国人増加の要因を分析する
- 地方別訪日外国人増加の要因を分析する

参考文献

[1] 過去3年の月別訪日外国人数の推移

<http://www.tourism.jp/statistics/inbound/> (最終閲覧日2015/10/28)

[2] IT media ビジネス

<http://www.itmedia.co.jp/business/articles/1509/17/news108.html> (最終閲覧日2015/10/28)

[3] 世界各国・地域への外国人訪問者数ランキング

http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_statistics.html (最終閲覧日2015/10/28)

[4] 観光を通じてアジアと共に成長するために

http://www.isfj.net/ronbun_backup/2014/t1.pdf (最終閲覧日2015/10/28)

[5] 国土交通省 観光庁

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouthyouusa.html> (最終閲覧日2015/10/28)

[6] 日本政府環境局 (JNTO)

http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_trends/index.html (最終閲覧日2015/10/28)